

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	アソビシロ
役職	
氏名	田尻泰崇
着任日	令和6年6月1日

活動月	令和8年3月（着任21ヶ月）
主な活動	1. 川辺高校卒業式 2. 来訪者対応、中学校向け資料作成 3. 協力隊報告会

1 川辺高校卒業式

3月2日、川辺高校の卒業式が行われました。卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。協力隊の活動が始まり、生徒会やSNS部の学生たちと行事ごとに撮影のことを話したり、SNS投稿を協力してもらいました。主に2年生との活動が多いため、3年生と話をしたのは半年ぶりくらいでしたが、見かけ次第すぐに声をかけてくれてとても嬉しかったです。みなさん各々が、自分たちの望む進路に進んでいくことを聞いて安心すると同時にとても明るい気持ちになりました。川辺高校でよかったという声や新生活がとても楽しみという声もちらほらと聞こえて、いい雰囲気でした。特に今回印象的だったこととして、式中に涙を流す学生が多かったことでした。卒業式で涙を流せるってとても素敵なことだと思います。それだけ実りのある高校生活を送れたということだと思います。先生方にも話を聞いていると、各生徒が、どのような進路を目指していて、どんな経緯で決まっていたかを熱く語る姿に、生徒に合わせた相談とサポートをされていることが真摯に伝わってきました。人数が少ないということは決してマイナスな面だけでなく、手厚く一人一人がしっかりとしたサポートを受けられるプラスの面もあるなと実感できました。

2. 来訪者対応、中学校向け資料作成

3月11日、屋久島の方から川辺を見学されたいという方々がいらっしやって対応しました。川辺高校がどんな高校なのか、地域でのどのようなサポートが受けられるのか等、現在までに取材して分かっている魅力を伝えられたと思います。寮として貸し出しをいただく予定の建物を管理されている(株)いる葉の活動にもとても関心を持っておいでの方で、こちらだったら安心して子供の高校生活を支援できると安心して見学をされていました。地域にここまで生活を整えるサポートをしてもらえる会社があることが珍しいことだと思います。この貴重な体制に感謝しつつ、川辺に住みたい、川辺で高校生活を送りたいという方が増えるように広報を進めていきます。その流れとなりますが、今年の宣伝広報の一貫として、南薩地域の近隣中学校への宣伝活動の資料を改変して、伝わりやすく、かつ魅力的なものに進化させることを高校と打ち合わせて制作しています。プレゼンの時間を測りながら、魅力を効果的に宣伝できるような計画を立てて実行にうつしていきます。

3. 協力隊報告会

今月は協力隊の報告会が大きく2回実施されました。

まずは、3月1日に打ち合わせも兼ねてワークを行いながら互いの現状を理解し合う事前報告会が行われました。ここでのワークは自分の現状で行っている活動と協力隊を卒業した後にどのような仕事をしながら、なりたい自分になれているか、もしくはなりたい自分とはどんなものかを認識するという内容のものでした。私の協力隊の活動任期は残すところ1年と3ヶ月となりました。ここまでの期間は思い返すと本当にあっという間で、東京で生活していた時間の流れよりもより早く感じています。残りの約1年で何ができるのかを真剣に向き合う時間となりました。まずは、主なミッションである「地域みら

い留学」の学生確保が最優先となります。川辺は移住者も多く、私自身も移住者としてとても住みやすい場所だと思っています。この穏やかな場所で穏やかに暮らす人々と高校生活を送れることに羨ましさを感じるほどです。「いつてみたい！」と感じてもらえるような宣伝広報を6月、7月に開催される説明会に向けて準備を着々と進めていきます。そして、卒業後のことも考えて、自分の動画の仕事を並行して行っています。現状は学校の SNS 動画への協力、提供、地域企業の動画制作などを行っています。4月上旬にはなぎなた部の CM も川辺高校の Instagram にてアップロードするので是非ご覧いただければ幸いです。

そして18日に知覧にて協力隊の報告会が行われました。私は前回の報告会で発表しているの、今回は別で活動している3名の隊員によるプレゼンとなりました。3名それぞれの発表で、ここまで詳細に聞いていなかったの、普段どのような活動をしているのか詳しく知ることができました。ここまできて、こんな数の人を動かしているんだと単純に驚いていました。驚いているということは知らなかったということで、事前報告会や普段の話では大まかな話しか聞けないのですが、具体的な詳細を聞いて、隊員たちがどれだけ様々な思いを抱えてここまでの行動を起こしているかを知るとはとても大事なことであったと感じました。共感すると同時に、こんな方法があったんだや次はこうしていこうと糸口が見つかるからです。だからこそもっと自分が何をしているのか知ってもらうために発信することは大事だと思えました。人を多面的に見ることは生活をしていく中でとても大事な要素の一つだと思うので、人に知らせること、人を知ろうとするこの努力をこれからも続けていこうと思います。